

---

# 異端の抹殺者

ロン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

異端の抹殺者

### 【Nコード】

N1999Z

### 【作者名】

ロン

### 【あらすじ】

吸血鬼や超能力者の存在が公になるのを防ぐ為、

その存在を抹殺し揉み消す組織 通称SAEOに雇われの身である八雲井直樹はその日も標的抹殺に赴くが…

高級住宅や高層ビルが軒を連ねる或華菜町。

様々な欲望が渦巻くこの町の中に一際目立つ真黒なビルが聳え立っている。

ビルの入口には屈強なSP達が厳重に警備し、他を寄せ付けない雰囲気を放っている。

だが人混みの中から1人の若い男が現れビルへと歩み寄ると、SP達は左右に別れ道を開けた。

常に無表情なこの男は黒髪で目が隠れており、スーツの上にコートを羽織っている。

男はビルの中へ入り、僅か1m先にあるエレベーターに乗り36Fのボタンを押す。

穏やかな速度で36Fまで上昇したエレベーターは機械音と共に扉を開く。

男がエレベーターを降りた先には狭い一本道の通路のみで行き止まりには大きな扉があるのみとなり、彼は冷たい足音を響かせながら徐に扉を開けて中へと足を踏み入れた。

扉を開けた先には奥行きのある広い空間にぼつりと置かれた来客用のソファアームに腰掛けた一人の少女がゆったりと紅茶を飲んでいる。

少女は赤い瞳をした金髪のポニーテールで、純白のワンピースを着ている。

彼女は入室した男を見るなり不敵な笑みを浮かべ手招きをした。

「私の姿に見惚れるのも構いませんが、早くこちらにお座りになられてくださるかしら？」

「…」

少女に促され男はソファアへと腰掛けた。  
すると少女に紅茶を差し出されるが彼はそれに手を付ける事も無く  
唯紅茶を啜る彼女を見つめる。

いや、正確には彼女の方へと目を向けているだけで実際は遠い何処  
かを見つめている様だった。

紅茶を飲み終えた少女はティーカップを机の上に置き、机の上にあ  
るファイルから徐に1枚の書類を男に渡す。

「これが今回の抹殺対象の煉谷海都ねしやかいと、吸血鬼ですわ。まあ百戦錬磨  
の八雲井様には少し簡単過ぎるかも知れませんが。」

「…報酬は幾ら出す？吸血鬼は命の危険が伴う、もし足元を見る様  
な額を言えばお前の首を刎ねる…」

「フフ、あなた様に殺されるのなら本望ですわ？但し“殺せたら”  
ですけど。では先ず前払いで500万お支払いしましょう。もし抹殺  
に成功すればもう500万で如何でしょうか？」

「…それで構わない、明日必ずここに獲物の首を持って来よう…」

少女は金庫から札束を取り出し、男に渡す。

それを数え500万円ある事を確認した男は無言で扉を開けて出て  
行った。

ここは特殊能力抹殺組織 通称SAEO (Special Ability Erasure Organization) は超能力者や魔術師等、異端な存在を抹殺し社会的混乱を未然に防ぐ目的で日本政府により設立された。  
SAEOは先程の少女、不死川美瑠麻しなずかがわみるまのみが所属し全てのSAEOに関わる情報を支配・管理している。

そして男の名は八雲井直樹やくもいなおき、暗殺者としての腕を買われ美瑠麻と契

約を結び日々異端者を抹殺している。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1999z/>

---

異端の抹殺者

2011年12月7日06時47分発行